

提出期限：令和7年3月21日(金)

令和 7年 2月 20日

山形大学「つなぐちから。」 社会共創活動推進プロジェクト  
実施報告書

報告者名	鈴木 宏昭	
団体名および構成員 ※団体で活動を行った場合のみ記載 (欄が足りない場合は行を追加して記入してください。)	団体名	
	氏名	所属
	宮舘 新吾	大学院教育実践研究科
	井上 麻美子	大学院教育実践研究科
	後藤 みな	地域教育文化学部
活動名	小学校理科のスキルアップ講座	
連携して活動を行った プラットフォーム加盟機関名	山形県教育委員会	
活動報告	<p>《活動内容》 4つの小学校理科に関する教育プログラムの提供することによって、理科教育の振興を目指した。 ①理科の授業研究（9月11日）参加者36名 小学校理科における問題解決に関する基本的な考え方について解説した。その後、基に各グループで授業案を検討・発表した。そして、児童の問題解決能力育成のための授業展開について検討した。 ②理科の教材研究（10月12日）参加者19名 児童の思考に基づく教材研究について解説した。その後、学習内容に応じた適切な教材と何か、様々な教材の比較などを通じて、教材の選択と使用上の留意点を確認した。 ③理科室の管理・運営（11月10日）参加者5名 染色の実験を通して、化学薬品の基本的な取り扱い方を解説した。その他、化学薬品の保管や廃液処理の観点から理科室の安全管理を演習形式にて確認した。 ④理科の観察と実験（12月8日）参加者2名 小学校理科に関する基本的な観察や実験の操作や留意点について解説した。また、児童の問題解決と観察や実験との関連についても確認した。</p> <p>《実施した効果》 近年、多くの小学校では現代化された理科教育に対応するが難しいといわれている。また、小学校理科に関する業務が教員の大きな負担となっていると思われる。そこで、小学校理科に関する教育プログラムの提供によって、理科教育の振興の一翼を担うことができたと思われる。</p>	

(裏面あり)

実施スケジュール	≪スケジュール≫ ・令和6年7月 スキルアップ講座に関する教育内容・日程の検討 ・令和6年8月 スキルアップ講座の準備（広報活動を含む） ・令和6年9月～12月 スキルアップ講座（全4回）の実施 ・令和6年2月 スキルアップ講座の活動評価（外部評価確認を含む）						
支援金の用途報告	合計 円						
	(内訳)	(品名・用途 他)	(数)	×	(単価)	=	(金額)
	講座消耗品 (理科教材)	示温インク、 星座早見盤	1	×		=	78,560円
	講座運営消耗品 (紙・トナーなど)	コピー用紙、 文具など	1	×		=	21,440円
				×		=	円
				×		=	円
次年度の計画について	次年度も引き続き講座を実施することを検討した。小学校理科に関する教員の負担軽減および児童の理科学習の促進効果を顕在化させることを通じて、関連自治体にて当該活動を予算化を提案することを検討した。						
本事業へのご意見・要望	特にございませぬ。						
活動に関するHPや情報がありましたら、URLの添付をお願いいたします。	特にございませぬ。						

1 この報告書はA4版表裏1枚以内で作成の上、メールに添付して提出してください。

問い合わせ先：山形大学総務部総務課社会共創推進事務室  
 TEL：023-628-4615 MAIL：yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp